

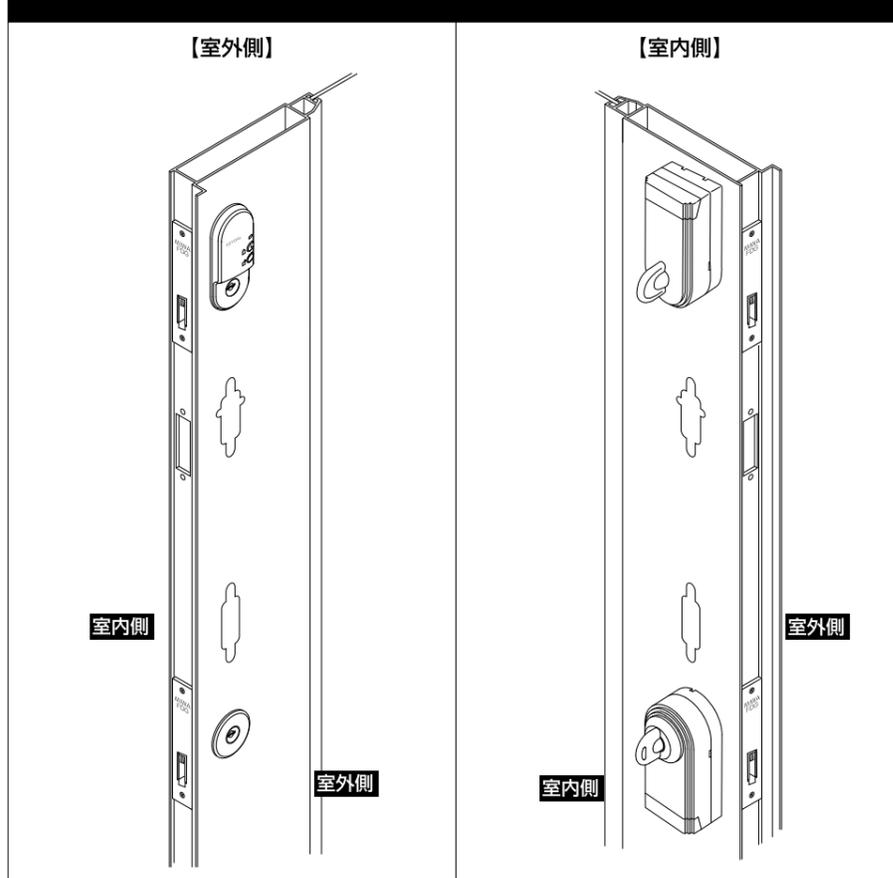
電動サムターンセット 取付説明書

取説番号 878R0980

■ 梱包明細

名称	入数	詳細
錠ケースセット	2個	M4×16皿小ねじ 4本付
上部シリンダー	1個	小判型シリンダー、押ボタン・LED付き
上部電動サムターン	1個	—
上部取付台座	1個	—
下部シリンダー	1個	丸型シリンダー
下部電動サムターン	1個	—
カバー	2個	—
ジョイントハーネス	1個	—
サムターンツマミ	2個	—
下部取付台座	1個	—
取付セット	1セット	M5×20ナベ小ねじ 4本 M4×12ナベ小ねじ 3本
リモコンキー	3個	—
ACアダプター	1個	—
説明書	3種類	取付説明書／1枚、取り扱い説明書／1冊、 ご使用上の注意説明書／1枚
キー	2種類	子鍵／5本、コンスキー／3本

電動サムターンの取り付けは、空錠・ハンドルの取り付け前に行なってください。錠ケース・空錠・ハンドルの取り付けの際には、配線コードをはさみ込まないよう注意してください。
※ねじ止めには、電動ドライバー（インパクトドライバー・エアドライバーなど）を使用しないでください。



本書はR勝手を示す

■ 上部電動サムターン取付方法

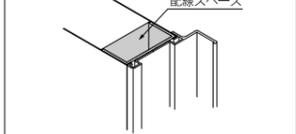
1 ジョイントハーネスの配線

- ①ジョイントハーネスを下記図のように取り回してください。
※ハーネスの突出量は目安として各々135mmとしてください。
(注) 框ドアタイプにジョイントハーネスを取り回す際にはドア本体内に落とし込まないようご注意ください。

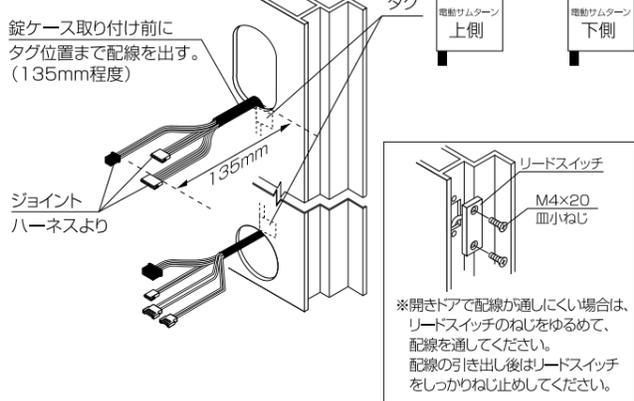
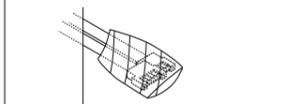
お願い
ジョイントハーネスのタグは取り付け時にドア本体に入れてください。タグがドア本体から出た状態では電動サムターンの取付不良の原因となります。

【断熱ドアの場合】

断熱ドアの場合、図のようにコの字の芯材のスペース部にジョイントハーネスの配線を行ないます。



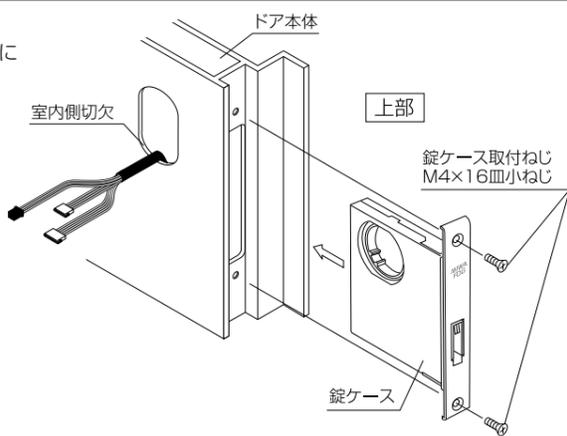
※配線が通しにくい場合は、コネクタにテープを巻いて、通してください。



※開きドアで配線が通しにくい場合は、リードスイッチのねじをゆるめて、配線を通してください。配線の引き出し後はリードスイッチをしっかりとねじ止めしてください。

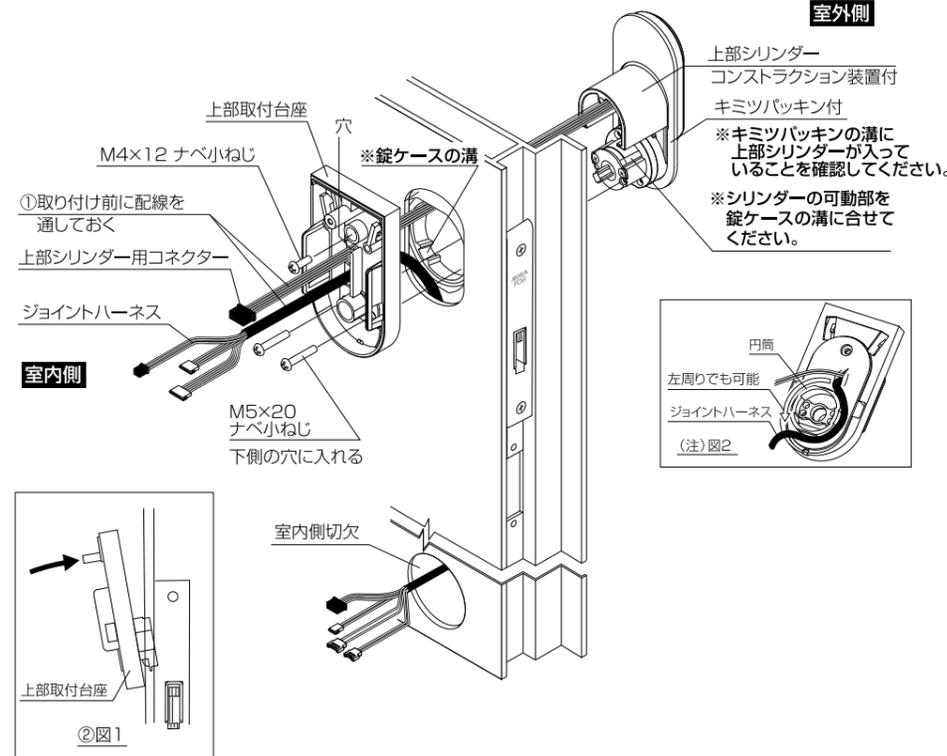
2 上部錠ケースの取り付け

- ①錠ケースを取付ねじにてドア本体に取り付けてください。
※配線コードをはさみ込まないよう注意してください。



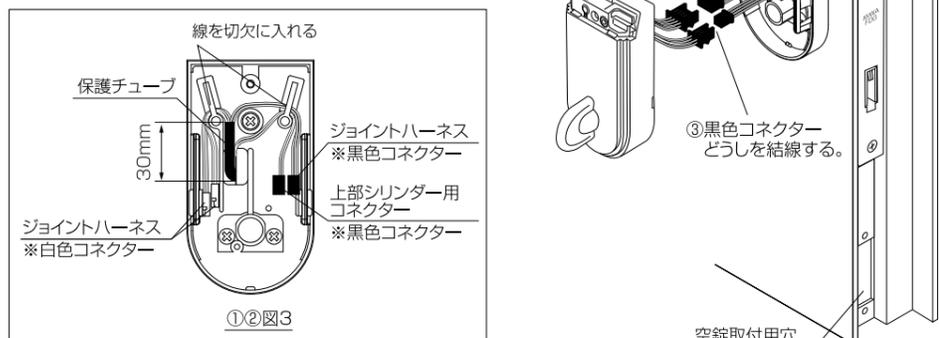
3 上部取付台座の取り付け

- ①ジョイントハーネスおよび上部シリンダー用コネクタの配線を上部取付台座中央の穴に通します。上部シリンダー用コネクタの配線は最後まで引き出してください。
- ②上部取付台座を図1のように傾けて挿入した後、上部シリンダーと取付ねじにて傾きなくしっかり固定してください。
(注) 配線が扉と上部シリンダーまたは上部取付台座の間に挟まらないように取り付けてください。ジョイントハーネスは上部取付台座の中央の穴に通した後、図2のように台座裏側の円筒の曲面に沿わせると取り付けが容易になります。



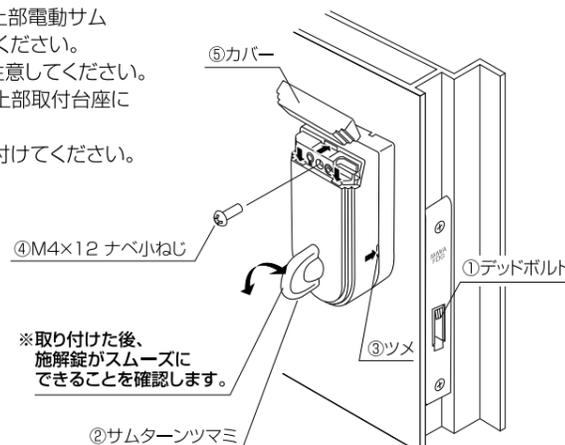
4 上部電動サムターンユニットの配線・接続

- ①上部シリンダー用コネクタの配線を図3のように取り回してください。
- ②ジョイントハーネスの保護チューブを30mm引き出し、図3のように取り回してください。
- ③ジョイントハーネスおよび上部シリンダー用コネクタと上部電動サムターンのコネクタをコネクタの色と芯数を確認しながら結線してください。



5 上部電動サムターン取り付けおよび確認

- ①上部錠ケースのデッドボルトが出ていないことを確認してください。
- ②上部電動サムターンのサムターンツマミの向きを縦方向にします。
- ③上部電動サムターンの内側両面に付いているツメを上部取付台座両側面の穴に合せて、上部電動サムターンを上部取付台座にはめ込んでください。
※配線コードをはさみ込まないよう注意してください。
- ④取付ねじにて上部電動サムターンを上部取付台座に固定してください。
- ⑤カバーを上部電動サムターンに取り付けてください。



※取り付け後、施錠がスムーズにできることを確認します。

裏面もご覧ください

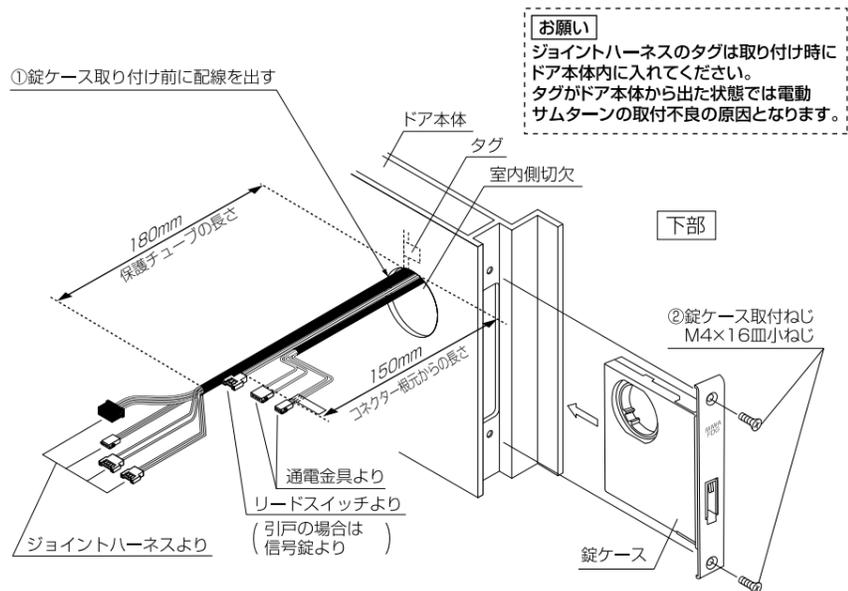
美和ロック株式会社

〒105-8510 東京都港区芝3丁目1番12号

■ 下部電動サムターン取付方法

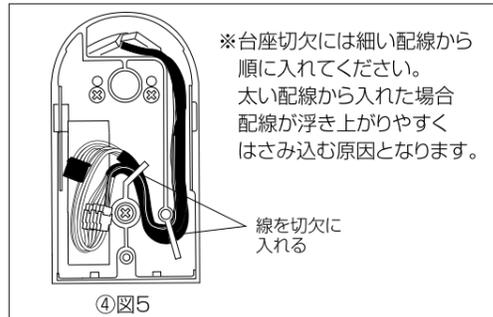
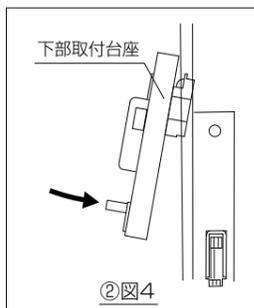
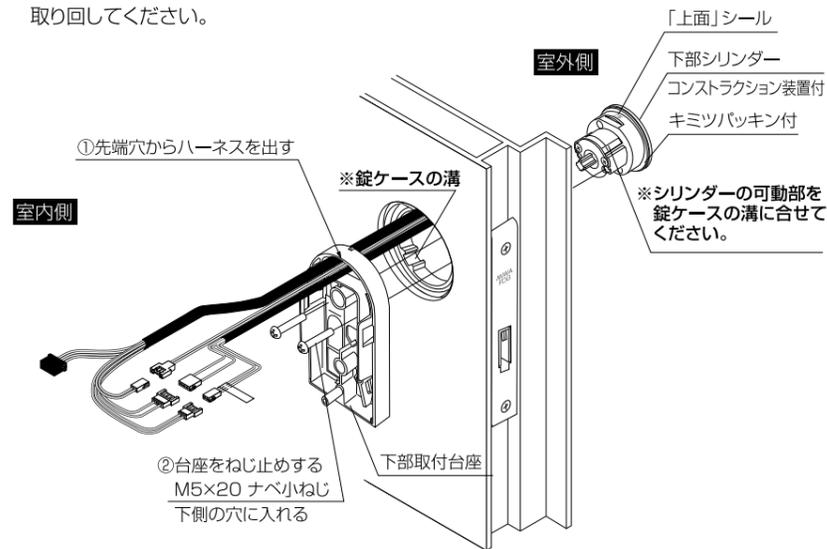
1 下部錠ケースの取り付け

- ①錠ケースを取り付ける前に、全ての配線を穴から引き出しておきます。(長さは下図に記載)
- ②錠ケースを、取付ねじにてドア本体に取り付けてください。



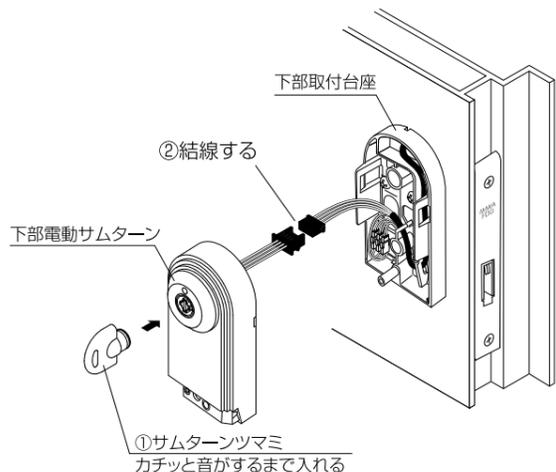
2 下部取付台座の取り付けおよびハーネスの配線・接続

- ①ハーネスを下部取付台座先端の穴へ通します。
- ②下部取付台座を図4のように傾けながらドア本体切欠に挿入した後、下部シリンダーと取付ねじにて**傾きなくしっかり固定してください。**
- ③リードスイッチおよび通電金具からのコネクタとジョイントハーネスの白色のコネクタを結線してください。
- ④リードスイッチからの配線→通電金具からの配線→ジョイントハーネスの順に図5のように配線を取り回してください。



3 下部電動サムターンの配線・接続

- ①サムターンツマミを下部電動サムターンに取り付けてください。
- ②下部電動サムターンと配線をコネクタで結線してください。



4 下部電動サムターン取り付けおよび確認

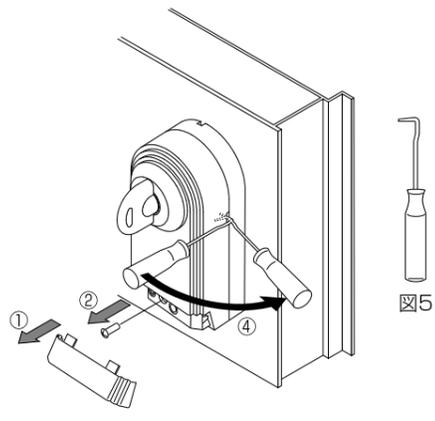
- ①下部錠ケースのデッドボルトが出ていないことを確認してください。
- ②下部電動サムターンのサムターンツマミの向きを縦方向にします。
- ③下部電動サムターンの内側両面に付いているツメを下部取付台座両側面の穴に合わせて、下部電動サムターンを下部取付台座にはめ込んでください。
※配線コードをはさみ込まないよう注意してください。
- ④取付ねじにて下部電動サムターンを下部取付台座に固定してください。
- ⑤カバーを下部電動サムターンに取り付けてください。



※リモコンを登録する場合はカバーをする前に別途取扱説明書に従って登録してください。

電動サムターンの取り外し方

- 電動サムターンをドア本体から取り外す場合は下記の順序で取り外してください。
取り外しには先端の曲がった工具(図5)をご準備ください。
- ①カバーを外してください。
 - ②取付ねじを電動サムターンから外してください。
 - ③電動サムターンの側面の切り込みに先端にテープを巻いた工具を差し込んでください。
 - ④片方手で電動サムターンを引きながら、工具のグリップをドア側へ押し、台座から電動サムターンのツメを外してください。
 - ⑤反対側の側面も同様に行ない、電動サムターンを外してください。
- (注) 工具でドア本体や電動サムターンを傷つけないようご注意ください。



工事用キー・シリンダーの取扱上の注意事項

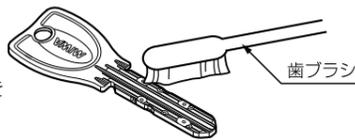
工事業者様へのお願い

ディンプルキーは防犯性能に優れた精密な錠前です。そのため、汚れた工事用キーを使用した場合、動きが悪くなるおそれがあります。

工事用キーは、必ず現場用工事キー保管袋に入れて保管し、土・ホコリが付着しないようご注意ください。

※この「工事用キー・シリンダーの取扱上の注意事項」をよくお読みいただき、注意事項を必ずお守りください。

キーの刻み部分や溝の汚れ(ゴミやホコリ)で動きが悪くなる場合があります。キーが汚れた場合は、歯ブラシ等で刻み部分や溝の汚れを掻き出してください。



⚠ 鍵穴に市販の合成潤滑剤(GRC、シリコンスプレー等)を注油しないでください。

油がホコリを呼び、動きを悪くします。鍵穴のゴミやホコリはパソコンのキーボード用のエアダスター等を使用し、吹き出してください。掃除機で吸い出す方法もあります。



鍵穴の抜き差しがスムーズでない、または重いとき。

- 1) 鍵のすべての刻み部分を鉛筆(先端の黒芯)でなぞるように黒く塗り、その鍵を鍵穴に挿入して数回抜き差しをしてください。鍵の抜き差しがスムーズになります。または、錠前専用の潤滑剤「3069」を鍵穴に0.5秒程度吹きつけてください。吹きつけすぎると、かえって動作が悪くなる場合があります。
- 2) 鍵の抜き差しがスムーズになりましたら、鍵に付着している黒い粉または潤滑剤を布等でふき取ってください。付着したまま使用されると、衣服等を汚す場合があります。

錠前潤滑剤「3069」は美和ロックサービス代行店で販売しております。詳しくはお問い合わせください。弊社サービス代行店はホームページから検索できます。美和ロックホームページ <http://www.miwa-lock.co.jp/>



錠前潤滑スプレー 3069